

今年も「水の週間」シンポジウムに参加しましょう！

第28回「水の週間」シンポジウム 今年のテーマは『水の役割』

日時：8月9日（水）10:00～12:00
 場所：小牧市公民館 講堂
 主催：木津用水水管理対策協議会
 問合せ：TEL0568-72-3911(事務局)

【講演】

『水田生態系の再生をめざして』
 宮本 晃 氏(愛知県農業総合試験場環境基盤研究部主任研究員)
 『ラオスの灌漑事情』
 渡邊 光邦 氏(東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所長)

教えて！のーりんQ&A

皆さまからの質問にお答えしています。

Q1：岐阜県、愛知県で作られている「お米の種類」を教えてください！

A1：岐阜県の作付上位品種は、第1位ハツシモ(38.7%)、第2位コシヒカリ(30.8%)、第3位ひとめぼれ(8.7%)となり、この3銘柄で全体の78%程度を占めています。愛知県の作付上位品種は、第1位あいちのかおり(39.4%)、第2位コシヒカリ(29.9%)、第3位祭り晴(9.8%)となり、この3銘柄で全体の79%程度を占めています。
 なお、かつこ内の%は、各県の全作付面積のうち各品種の占める割合を示しています。
 (出典：農林水産省「H17年産水稲作付面積調査」)

Q2：地域の資源・環境を守る「農地・水・環境保全向上対策」について教えてください！

A2：全国で農家の減少、高齢化が進行し、農地や農業用水などの資源を守る組織が弱まっています。一方で、環境への関心や環境保全の取り組みは高まっています。このため、地域ぐるみで農地や水を守る共同活動と環境保全に向けた営農活動を支援する制度を導入する検討が進められています。本対策は、農業用水路の破損部分の補修、学校や子供会と連携した水路での生き物調査・学習等、地域の資源・環境の保全活動を行う区域にある農用地面積に応じて助成金が交付される制度です。詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。(http://www.maff.go.jp/syotoku_antei/index.html)
 そのほか、「品目横断的経営安定対策」や「担い手経営安定新法」により農政改革を一層加速していきます。



編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局 refresh_noubi@tokai.nn-net.go.jp
 紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

e-mailでもお待ちしています！

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所(しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
 (〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

犬山支所(〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201)
 羽島支所(〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127)

【ホームページアドレス】

新濃尾農地防災事業所：http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/
 農林水産省：http://www.maff.go.jp/ 東海農政局：http://www.tokai.maff.go.jp/

リフレッシュ濃尾用水

【編集発行：隔月】
 農林水産省東海農政局
 新濃尾農地防災事業所
 2006年7月 第13号

Topics!

「あじさい祭り」や「田んぼの生きもの調査」など各種イベントに参加しました。

8月9日、小牧市公民館において、第28回「水の週間」シンポジウムが開催されます。
 今年度もかんがい期間の終了にあわせて、10月から用排水路等の改修工事を開始します。

羽島用水路沿い「正木町あじさい祭&ウォーク」に参加！

6月11日、羽島市正木町の羽島用水路沿いで「第10回正木町あじさい祭り&ウォーク(文化芸能振興会：羽島あじさい街道をつくる会主催)」が開催され、当事業所からも有志職員が参加しました。

当日は、時折小雨が降る天候にも関わらず、地域住民の方々や子ども達が大勢集まり、公民館前の広場ではあじさい踊りや正木音頭などの踊りが披露され、その後、羽島用水路沿いにある往復約2kmのあじさい街道ウォーキングが行われました。

羽島市正木地区では、地域住民が平成4年に「羽島あじさい街道をつくる会」を結成し、羽島用水路の土地を利用したあじさい栽培に取り組んでおり、毎年この時期になると約1,600株のあじさいが見頃を迎えています。

今年で10回目を迎えた本イベントも、ウォーキング開始時には雨も少し上がり、約400人の参加者達は写真撮影などしながらゆっくりと散策し心地よい汗を流していました。



羽島あじさい街道



PRバナーを配布しました



今年も大勢の人が参加しました



あじさい踊り

子ども達による俳句



羽島用水路の上部利用と維持管理



羽島用水路

当事業所が行っている改修工事で地中に埋まった羽島用水路の上部は、岐阜県が行う地域用水環境整備事業「羽島用水地区」によりせせらぎ水路等の整備が行われます。

工事完成から上部利活用開始までのしばらくの期間は、当事業所のほか、岐阜県、羽島用水土地改良区及び地元住民の方々によって草刈り等の日常管理を行っています。



除草作業のようす

“平成18年度の工事予定区間をお知らせします”

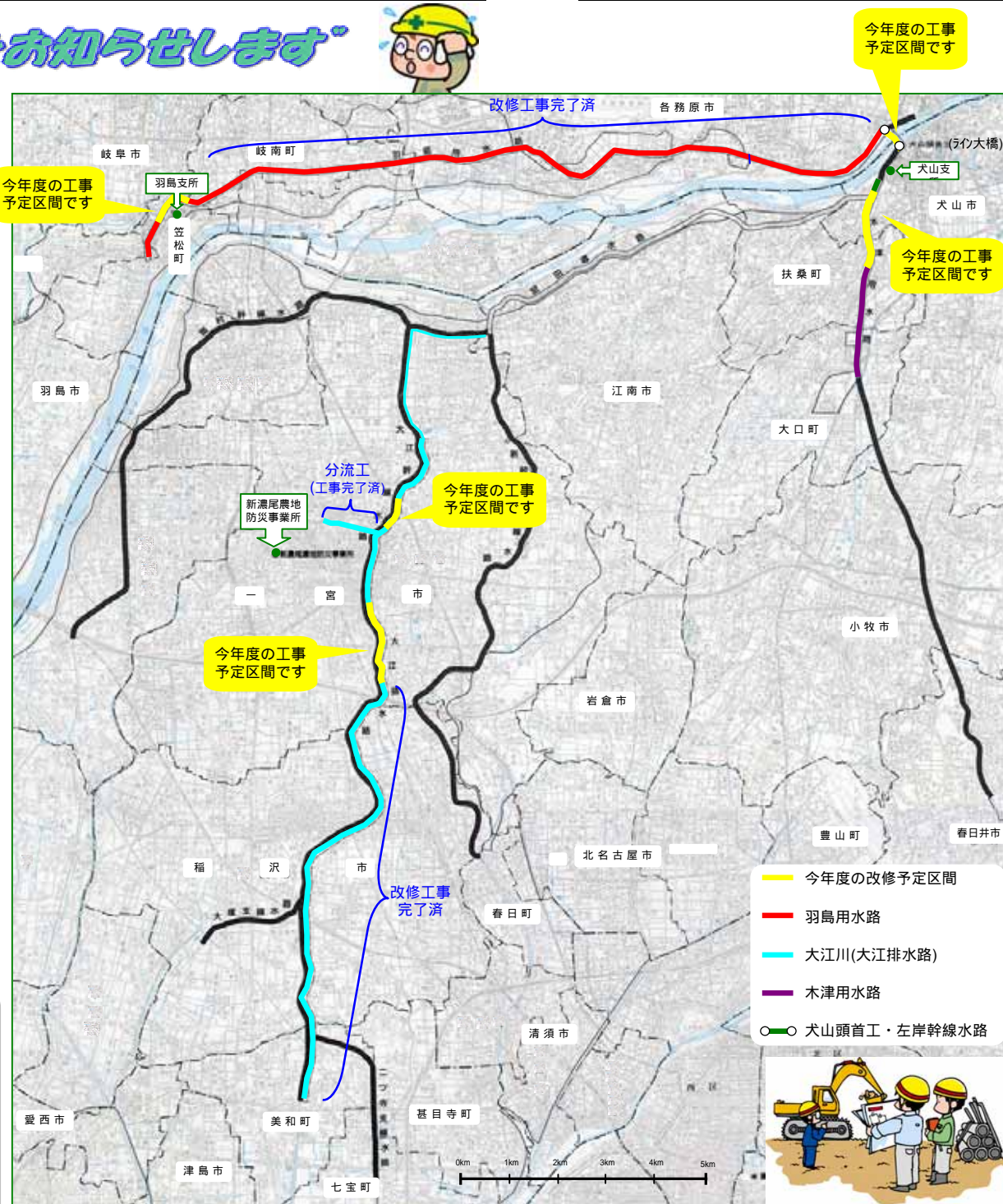


農林水産省新濃尾農地防災事業所では、用水路や排水路などの農業水利施設の改修工事を実施しています。今年度の改修工事は、右の地図に示す区間を予定しています。工事は主に10月から翌年3月にかけて実施する予定です。

おいしいお米や野菜をつくるためのきれいな水を流すために、そして水路の周辺に住んでいる皆さんが安心して暮らせるように改修工事に全力を尽くします。

主な工事予定

- **羽島用水路の改修工事 約1.2キロメートル**
今ある用水路をパイプ化して地中に埋設します。
- **大江川(大江排水路)の改修工事 約1.7キロメートル**
排水機能を元のように回復させるため、断面を改修します。
- **木津用水路の改修工事 約1.2キロメートル**
農業用水の水質改善のため、農業用水と家庭からの生活排水などの都市排水とを分離する工事を行います。
- **犬山頭首工の補修工事 1式**
頭首工操作室と操作橋(ライン大橋)の補修及び左岸幹線水路の補修工事を行います。



犬山だより

犬山頭首工補修工事の現場内において、洪水等で現場に流れ着き腐葉土となった流木等に繁殖したカブトムシの幼虫を発見しました。



カブトムシ捕獲のようす

発見現場を掘り起こし、幼虫を拾い集めたところ、まるまると太った大きな幼虫がケースいっぱい採集されたことから、近隣の小学校へ幼虫をプレゼントし、理科の授業等に役立ててもらおうことにしました！

みんな、大切に育ててね～。



近隣の小学校へプレゼント



もうすぐ生まれるよー。みんな大事にしてね！

大江川だより

大江排水路(大江川)物語
最終話

大江川は、昭和六十二年に完了した国営濃尾用水第二期土地改良事業により、農業用排水路として再整備されましたが、その後、大江川の周辺で都市化が急激に進んだため、水を蓄えることができる水田や畑が減少し、降雨時の排水量が増大しました。

このため、大江川の排水断面に不足が生じ、周辺の農地等に冠水被害が生じるとともに、広域的な洪水被害の危険性や悪臭等の環境の悪化も心配されるようになりました。

この排水断面の不足等を解消することで災害を未然に防止し、十年に一回程度の降雨にも対応できるように、現在、国営総合農地防災事業「新濃尾地区」として大江川の改修が行われています。

(おわり)

田んぼや用水路で生きもの調査を実施!

稲沢東小学校の「田んぼの生きものとり」を応援

6月5日、7日に、稲沢市立稲沢東小学校の2年生約160名が付近の農業用水路において「生きものとり」を実施しました。この活動は、生活科の授業の一環として毎年行われているもので、今回は当事業所と宮田用土地改良区の職員も授業をお手伝いするために参加しました。

児童はタモ網でメダカ、オタマジャクシ、フナ、ドジョウ、ザリガニなどを捕まえて種類を調べたり、他の児童のものと比較したりして、2時間の授業はあっという間に過ぎていきました。「おっ、ザリガニだ!」「やった!メダカ1匹ゲット!」...最後まで児童たちの歓声は鳴りやみませんでした。



エコきっず達の田んぼの生きもの調査を応援

7月1日、宮田用土地改良区主催による「田んぼの生きもの調査」が美和町内で行われ、共同調査として参加した周辺市町のエコきっず調査隊に交じって、当事業所職員も応援に駆けつけ、約50人の子供達とともに水質の調査をしたり、用排水路やあぜ道にいる生きもの調査を行いました。

タモ網で捕まえたオタマジャクシやドジョウなどのほか、前日から仕掛けておいたカゴ網や定置網には、ウシガエルやヒルなどの生きものも入っており、子供達は興味深く観察していました。捕まえた生きものを嬉しそうに持ち帰る様子や自分の書いたメモを友達同士見せ合う姿もあり、自然や農業を身近に感じることであった一日となりました。

